



富津市立湊小学校4・5年生の児童42名による第26回議場コンサートが、12月19日に開催され、「世界の子どものマーチ」「Wish～夢を信じて」「湊小学校校歌」の合唱・斉唱3曲を披露していただきました。湊小学校は、令和2年度から学校の再配置により天羽小学校となるため、校歌斉唱では、子どもたちの不安な気持ちと希望に満ちあふれた歌声が、聴く人の心に響き渡りました。



【初冬朝の霊峰富士&第一第二海堡】

写真提供 大堀・馬淵健夫さん

富津 絶景 39

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、欲びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

12月定例会……………2～3P

決算審査特別委員会報告……4～5P

議決結果……………6P

個人質問……………7～10P

個人質問・議会報告会……………11P

トピックス・定例会日程……………12P

12月 定例会

◆ 条例等

▼ 地域交流支援センターの設置及び管理に関する条例の制定

乳幼児の健やかな育成及び子育て中の親子の交流を図るとともに、子育て世代と高齢者その他の多様な世代との連携を支援することにより、児童福祉の向上及び地域活性化を目的として、富津市地域交流支援センターを設置するため、条例を制定するもので、全員の賛成で可決しました。



令和元年12月定例会は、11月28日から12月19日までの22日間で開催されました。議案17件、報告6件、継続審査議案6件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。



令和2年4月1日から開設予定の地域交流支援センター（旧天羽老人憩の家）

▼ 病後児保育室の設置及び管理に関する条例の制定

保護者の子育てと就労等の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図ることを目的として、富津市病後児保育室を設置（定員は3人で地域交流支援センター内に設置）するため、条例を制定するもので、全員の賛成で可決しました。

▼ 一般職の職員の給与等に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定

令和元年10月の千葉県人事委員会勧告に準じ、給料月額、住居手当限度額、勤勉手当の支給割合の引き上げ等を行うため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼ 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

一般職の職員に係る勤勉手当の支給割合を引き上げることに伴い、特別職の職員で常勤のものに係る期末手当の支給割合を引き上げるため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼ 老人憩の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

大佐和老人憩の家を令和2年3月31日をもって廃止するため、条例の一部を改正するもので、以下の討論がなされ、賛成多数で可決しました。

（反対討論）

利用者の減少を廃止の理由としているが、高齢者が増え続ける中で、高齢者が集う場所は必要であり、否決とすべき。



令和2年3月31日をもって廃止される大佐和老人憩の家

▼ 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

一般職の職員に係る勤勉手当の支給割合を引き上げることに伴い、議会議員に係る期末手当の支給割合を引き上げるため、条例の一部を改正するもので、以下の討論がなされ、賛成多数で可決しました。

（反対討論）

相次ぐ台風により、甚大な被害を受けた市民は、いまだ家の補修等も進まず、普段の生活に戻れない中で新年を迎えようとしている状況での議員期末手当の引き上げに反対であり、否決とすべき。

▼ 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例の制定

成年被後見人等の権利の制限に

係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されること及び旅館業法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、関係する規定等を整備するとともに、字句等の整理を行うため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼君津富津広域下水道組合規約の変更に関する協議

下水道事業に地方公営企業法を適用すること及び君津富津広域下水道組合の経費に係る君津市及び富津市の負担方法の明確化を図ることに伴い、君津富津広域下水道組合規約を変更するため、関係地方公共団体と協議するに当たり、議会の議決を求めるとともに、全員の賛成で可決しました。

◆補正予算

▼一般会計

①補正予算第4号

(補正額 8億1382万円)

令和元年台風第15号に伴う災害対応にあたり、不足する既存予算を緊急に補うため、主に災害発生時からの対応に要した仮復旧などの経費や直近の対応に見込まれる経費等を計上し、令和元年10月2日に専決処分をしたもので、全員の賛成で承認しました。

②補正予算第5号

(補正額 10億9395万円)

令和元年台風第15号及び第19号に伴う災害復旧に要する工事などの経費等に、その財源となる地方交付税、国県補助金、市債などの歳入を計上し、令和元年10月16日に専決処分をしたもので、全員の賛成で承認しました。



災害ごみの仮置場

③補正予算第6号

(補正額 27億5769万円)

令和元年台風第15号等により被災した農業用施設、水産関連施設及び住宅の復旧支援並びに公共土木施設等の災害復旧事業などに係る経費並びにこれらに関連する歳入を計上するとともに、繰越明許費の設定及び地方債の補正をするもので、全員の賛成で可決しました。

一般会計補正予算(第6号)の概要

(単位:千円)

区分	主な内容	予算額
総務費・民生費・消防費	旧大佐和出張所倉庫・旧湊第一保育所解体工事、保育所の修繕、災害対応職員人件費	32,927
衛生費	損壊家屋撤去事業	406,962
農林水産費	被災農業者支援事業、水産関連施設等復旧緊急対策事業	1,831,916
土木費	被災住宅修繕緊急支援事業、被災者家賃等補助事業	308,880
災害復旧費	市道の復旧工事、林道の復旧工事、庁舎設備の復旧工事	177,000
合計		2,757,685

④補正予算第7号 (補正額 9184万円)

児童手当給付事業、道路維持事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入を計上するとともに、令和元年度の給与改定等に伴う人件費の補正をするほか、繰越明許費の補正をするもので、賛成多数で可決しました。

▼国民健康保険事業特別会計 (補正額 101万円)

令和元年度の給与改定等に伴う一般職人件費及びこれらに関連する歳入を補正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼後期高齢者医療特別会計 (補正額 84万円)

令和元年度の給与改定等に伴う一般職人件費及びこれらに関連する歳入を補正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼介護保険事業特別会計 (補正額 7798万円)

介護サービス等給付事業、高額介護サービス事業、介護予防・生活支援サービス事業などに係る経費及びこれらに関連する歳入を計上するとともに、令和元年度の給与改定等に伴う一般職人件費及びこれらに関連する歳入を補正するもので、全員の賛成で可決しました。

◆選挙管理委員の選挙結果

▼富津市選挙管理委員・補充員

区分	氏名	住所
委員	榎本 憲悟	岩瀬
委員	松本 庄次	富津
委員	鶴岡 隆	大堀
委員	小泉 正子	上後
補充員	鹿島 毅	青木
補充員	川名 泰	西大和田
補充員	能城 雅幸	桜井
補充員	今井 常夫	亀沢

任期は、令和元年12月23日から令和5年12月22日まで

◆決算審査特別委員会

平成30年度決算審査特別委員会（14人）は、本来9月定例会の会期中に行われる予定でしたが、相次ぐ台風により、11月13日に延期され、一般会計歳入歳出及び特別会計歳入歳出について質疑が行われました。今後の行政運営においてどのような改善がなされるべきか、様々な観点から検証することで事業の評価と次年度予算等へどう反映されるかなどの審査を行いました。質疑の主なものを報告します。

◆一般会計歳入歳出決算「歳入について」

- ・基準財政需要額を健全に増加させるための主たる要素について
- ・人口減少にあつて個人市民税収納額が増加している要員について

「歳出について」

●総務費

- ・地域おこし協力隊活動の見える化について
- ・バス利便性維持・向上事業における運行を確保するバス路線の収益率の下限について
- ・コンビニにおける市税の収納コ



決算審査特別委員会の様子

スト及び収納額並びに証明書等の交付件数について

●民生費、衛生費

- ・子ども医療対策費における医療給付費減少の要因について
- ・子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査結果による新たな事業について
- ・私立保育園等運営事業における定員充足率向上策及び子育てしやすい環境づくりの方策について
- ・妊娠・出産包括支援事業における産後ケアサービス利用者の評

価について

- ・収集事業におけるごみの量及び処理費用を周知することによるごみの減量化について

●農林水産業費、商工費、土木費及び災害復旧費

- ・農業次世代人材投資事業の内容について
- ・企業誘致対策関係費における企業誘致奨励金の在り方について
- ・市道湊富士見台線整備事業における進入路拡幅工事設計の内容について

●消防費、教育費及び公債費から予備費

- ・防災情報通信ネットワーク整備



デジタル化するために更新された防災行政無線の子局

事業における防災行政無線の子局及び戸別受信機の整備状況及び停電対策について

- ・富津埋立記念館管理運営費における入場者数増加の要因について

●総括的質疑

- ・公共施設の残存価格の公会計上の取り扱い及び再配置する施設ごとの具体的方針の策定等について
- ・公共施設の再配置を検討している状況下での借地整理の在り方について

等の質疑がなされ、以下の討論の後、賛成多数で認定されました。

（反対討論）

高齢者も子どもも気兼ねなく外出できる公共交通を望んでいたが、この決算にその兆しが見えなかった。「子育てしやすいまち日本一」に向けて少しずつ支援が広がっていることは評価するが、学校給食費の補助がなく、就学援助及び医療費助成の拡充が進んでいない等、義務教育における負担軽減が不十分である。また、災害が多発する中で、食糧需給率を高めるための市独自の農業振興策が見えなかったため、本決算には反対する。

(賛成討論)

天羽中学校進路の拡幅工事が盛り込まれない設計成果物とのことであるが、まだ拡幅の可能性はあるということより、今後の動向を見守るが、地権者との交渉が叶わないときには、学校関係者及び議会にも丁寧の説明した上で、最終的な道路計画の決断をすることを望み、本決算に賛成する。

◆国民健康保険事業特別会計

歳入歳出決算

・保険給付等交付金のうち、保険者努力支援分の指標、富津市の順位及び交付金増加理由について

・一人当たりの保険税額について等の質疑がなされ、全員賛成で認定されました。

◆後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算

質疑はなく、以下の討論の後、賛成多数で認定されました。

(反対討論)

今まで被用者保険の被扶養者も75歳以上になると強制的に加入させられることに対する軽減措置が、段階的に縮小され、保険料が

引き上げられる。少額の年金受給者が安心して老後を過ごせるようにするのが国の務めだと思おうので、本決算に反対する。

◆介護保険事業特別会計

歳入歳出決算

・保険料滞納による給付制限者数及び給付制限の内容について等の質疑があり、以下の討論の後、賛成多数で認定されました。

(反対討論)

保険料は3年ごとに見直されるが、平成30年度から第一号被保険者の負担割合は23%に引き上げられた。また、保険料の基準額も7・55%の引上げとなった。保険料の滞納は少額の年金を受給している人に多く、給付制限を受けている人もいる。介護の質を良くし、また、介護従事者の労働条件を良くすると保険料が上がる仕組みで、国の負担割合を引き上げない限り、保険料は際限なく高くなる。市として、国に国庫負担率の引き上げを求めて、本決算に反対する。

◆水道事業会計決算

・水道事業統合に伴う休止資産の

売却及び撤去について

等の質疑があり、以下の討論の後、賛成多数で認定されました。

(反対討論)

この決算は、富津市の水道事業が、かずさ水道広域連合企業団に統合する準備のための決算であり、これからの地球温暖化や災害のことを考えると、富津市の安全をおいしい豊かな水源の大佐和井戸を近い将来、無くしてしまう広域化に反対であり、本決算に反対する。

◆温泉供給事業特別会計決算

・事業廃止に向けた資産等の処分方法について

等の質疑がなされ、全員賛成で認定されました。



老朽化した金谷温泉給湯施設

▼各会計別決算額

会計名	予算現況	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	179億7,210万4千円	176億5,626万7千円	165億7,582万7千円	10億8,044万円	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	63億6,540万7千円	61億500万2千円	60億6,783万8千円	3,716万4千円
	後期高齢者医療特別会計	5億8,211万5千円	5億7,260万6千円	5億6,906万2千円	354万4千円
	介護保険事業特別会計	51億1,070万7千円	50億5,569万2千円	49億2,809万8千円	1億2,759万4千円
	計	120億5,822万9千円	117億3,330万円	115億6,499万8千円	1億6,830万2千円
水道事業会計	収益的収支	26億9,076万8千円	40億2,830万8千円	▲13億3,754万円	
	資本的収支	2億8,668万2千円	6億8,472万4千円	▲3億9,804万2千円	
温泉供給事業特別会計	収益的収支	98万4千円	255万1千円	▲156万7千円	
	資本的収支	0円	8千円	▲8千円	

令和元年12月定例会の 議決結果

※議案17件、報告6件、継続審査議案6件の議決結果は次のとおりでした。

議案等	議決結果	猪瀬浩	諸岡賛陸	三木千明	高木一彦	千倉淳子	山田重雄	平野英男	渡辺務	松原和江	岩本朗	石井志郎	藤川正美	永井庄一郎	鈴木幹雄	福原敏夫	平野明彦(議長)	
令和元年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めること	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めること	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
損害賠償の額を定めること及び和解の専決処分の承認を求めること(2件)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
地域交流支援センターの設置及び管理に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
病後児保育室の設置及び管理に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与等に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
君津富津広域下水道組合規約の変更に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
専決処分の報告(6件)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定(継続審査)	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定(継続審査)	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定(継続審査)	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
平成30年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定(継続審査)	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度水道事業会計決算の認定(継続審査)	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度温泉供給事業特別会計決算の認定(継続審査)	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。
*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
総務参与（総務部参与） 健福部長（健康福祉部長）

富津市の現状と課題、台風・公共施設・大佐和分院



石井 志郎
議員

問 台風15号での地区集会場や青年館等の被害状況と市の対応は。

市民部長 湊5区、峰上3区・5区・6区の集会場等が全半壊したほか、多くの地区の集会場や公民館等が被災した。今回被災した地区の集会場等の建て替え費や修繕費の補助制度を早急に策定する。

問 閉校後の避難所の対応は。

総務部長 閉校となる学校は当面は避難所として利用するが、施設を譲渡・貸し出す場合は、引き続き利用できる協定を締結・条件を付すなどして確保に努める。

問 ホール内椅子での長時間避難、高齢者や障害のある方の対応は。

教育部長 多くの一時的避難者を収容することが重要であり、各館ともホールの椅子を使用した受け入れを基本に高齢者などに配慮しつつ対応していく。

問 佐貫中学校跡地利用、文化・スポーツ・学習の拠点へ生涯学習センター等としての活用について。

教育部長 佐貫中学校跡地の利用については、富津市の中央に位置し、地域で活動している団体等の状況を踏まえ文化・スポーツ・学習の拠点として活用することについて検討の一つと考えている。地



台風で屋根が飛ばされた東大和田区集会場

域の方からご提案いただいた意見について教育部でも真摯に検討を重ね、早急に結論を出さなければならぬ課題として捉えている。

問 富津警察署の建替えについて総務参与 候補地の選定などについて県に対し協力を求めている。

問 中央病院大佐和分院について健福部長 君津保健医療圏の医療体制を維持する上でも必要不可欠な医療機関で、多くの外来患者・入院患者・救急搬送者を受け入れ、災害時には救護施設となり、周辺地域にとっても重要な役割を担っている。今後も県や君津中央病院企業団及び企業団構成市、君津木更津医師会とともに建て替えを含め存続に向けた協議をしていく。

災害と生活環境について



山田 重雄
議員

問 市全体の災害の状況と今後について伺う。

市長 9月から10月にかけて台風15号、台風19号、10月25日の大雨と連続して暴風や大雨による被害があった。その中でも、台風15号については、暴風、大雨、さらに停電、断水の長期化などにより、市民生活や農業、水産業、観光業などの多くの産業にも多大な被害をもたらした。総額46億7千万円、3回の補正予算を編成し、全庁一丸となり、迅速な復旧・復興に取り組んでいる。今後も、被災された市民に寄り添いながら、1日も早く被災前の生活に戻るよう復興を推進していく。

問 要支援者の対応と今後について伺う。

市長 今回のような大規模災害では、公助には限界があることから、個人での自助、地域での共助が重要である。このようなことから、自分ひとりでは災害時に避難が難しい高齢者や体の不自由な方に対し、隣近所が助け合って速やかに避難する仕組みづくりを行うことが大切。そこで、誰もが安心して暮らすことのできる地域をつくる

「避難行動要支援者制度」を推進している。今回の災害でも区長、自主防災組織など地域の皆さんによる支援を実施していただいた。

問 要支援者地域見守り事業に登録されていない高齢者の安否確認について伺う。

健福部長 9月16日から20日までの5日間、特に長期間の停電が想定され健康状態が不安視された、天羽地区の高齢者2125人に電話連絡の安否確認を行い、確認がとれなかった1908人に対し、介護福祉課職員等により区長・民生委員宅を訪問し、把握状況を確認するとともに家庭訪問を実施し、全ての方の無事を確認した。



台風15号の被災後に高齢者の安否確認を行う介護福祉課職員

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

健福部長（健康福祉部長）

台風被害支援対策 気候変動抑制対策

問 台風時には防災無線が聞こえない。戸別受信機を広く貸し出す計画はあるのか。

総務部長 難聴地域以外は費用もかかるので考えていない。

問 山中地区にはNTTドコモの中継アンテナがなく、行政からの防災メールが受信できなかった。NTTドコモに設置の要請を。

総務部長 事業者を確認を行い、必要に応じて要請する。

問 人工透析、介護認定、在宅酸素などの健康弱者への支援対策は。

健福部長 県や医療機関、医師会と連携し、各医療機関の状況等を把握し、情報提供するなどの支援を行っている。高齢者や障害者は、協定を結んだ福祉施設に緊急的に受け入れをいただいた。在宅酸素者は、把握をどうできるか検討する。

問 災害対応の職員の健康状態も心配だ。時間外労働時間の実態は。
総務部長 最高の時間外は、9月が200時間。10月が156時間。11月が129時間。

問 廊下は雨漏り、洋式トイレが少ない、車椅子の人は横になれない等、各避難所の不備の音が寄せられている。国際赤十字が作成し



松原 和江
議員

たスフィア基準に従って、たとえ一日二日でも、市民が安心して過ごせる避難所の改善を。

総務部長 可能な限りスフィア基準を満たすことが避難所の質の向上につながると考えている。

問 市が管理していない被災した地域の集会所や青年館には支援制度がない。市としての対策は。

市民部長 建て替えや修繕費を補助する制度を早急に策定する。

問 気候変動の抑制対策は。

市民部長 富津市では、太陽光発電システム、家庭用の燃料電池システム、定型リチウムイオン蓄電システム設置者に対して補助金を交付し、再生可能エネルギーの活用促進を図っている。



国際赤十字が作成。紛争や災害の際の避難所について、人間が人間らしく生きるための最低基準を定めている

今年の台風被災での 富津市の防災・減災

問 防災行政無線は強風雨時は聞こえないので、その補完のために安全安心メールが導入されたが、台風15号前後の登録数の変化は。

総務部長 8月末は7793人、11月末では9444人で1651人増えた。

問 広報ふつつ災害臨時号が、9月16日から6日間、6回発行されたが、その背景と発行枚数等は。

総務部長 主に停電復旧が遅れた天羽地区で、区長を通じての配布、支援物資の配布拠点での配布、広報車両による手渡しなどで、1日1450枚配布した。

問 今回の災害で、正確な情報を多くの人が共有すべきと痛感したが、災害対策本部で集まった情報を市の全職員が共有できる場はあったのか。

総務部長 職員がパソコンで閲覧できる庁内情報システムの掲示板に、災害対策本部の会議録・支援内容一覧や、その日の市の動向も掲載した。

問 指定避難所の発電設備と備蓄品の状況は。

総務部長 自家発電設備のある指定避難所は無い。代表的な指定避

難所の8カ所分の発電機を消防団で保管し、開設時に搬送することになっている。備蓄品は小中学校体育館や一部の避難所に配備。



藤川 正美
議員

問 支援物資の配布はどのようにされたのか。

総務部長 物資は市役所本庁舎から市民会館、峰上公民館、竹岡・金谷コミュニティセンターに1日2回運搬。また、区長の要請に対し、この他の施設にも運搬。

問 残った支援物資は、どこにどのように保管されているか。

総務部長 備蓄倉庫にあり、消費期限が近づいたものは、イベントなどで配布している。

問 自衛隊員のトイレはどこで。

市民部長 凝固剤をかけて使う携帯用簡易トイレを使用した。



特に天羽地域では、民有林の倒木被害が甚大。個人の対応には限界があり、国庫の支援が必要

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建設部長（建設経済部長）

自然災害に対する富津市の防災対策



高木 一彦
議員

問 台風15号による災害対応は。

市長 発災前日より職員を配備し、夕方には自主避難所の開設、翌朝には災害対策本部を設置し、支援物資の配布や停電に対する支援、自衛隊による支援の依頼、倒木や土砂崩れ、道路復旧、災害ゴミの受け入れ、り災・被災証明の申請受付等さまざまな対応をした。

問 今後の防災対策は。

市長 長期の停電に対応する防災行政無線、危険空き家の対応、街路樹の維持管理、避難所施設の安全対策、自主防災組織の結成・育成を推進するとともに、市民への防災に対する理解を深め、災害に強いまちづくりを目指していく。

問 被害状況の把握の方法は。

総務部長 職員によるパトロールを実施し、千葉県の防災システムにより報告した。

問 災害ごみの仮置き場について。

市民部長 災害廃棄物が大量に発生すると予想し、新富の市有地に設置。その後、天羽地区区長会の要望により浅間山に設置した。

問 自主防災組織について。

総務部長 活動状況は、要支援者の見守り、避難所の開設、炊き出し、物資の配分等で、今回の災害

での体験を踏まえ、実践的な講習、訓練の実施が必要と考える。

問 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の市との連携について。

総務部長 運営主体の社会福祉協議会と協力し、総合的に行う訓練は、手法も含め検討していく。

問 地域防災マネージャー制度の活用について

総務部長 経験豊かで専門知識を持った方からのアドバイスは有益であり、市長の指示のもと、採用に向けて準備を進めている。

問 被災者に寄り添う支援を願う。

市長 関係機関としっかりと連携しながら、被災された皆様に寄り添う形できちんと復興に向けて取り組んでいく。

防災・危機管理監等として自衛官を採用するメリット

長年の勤務で培ったスキルを応用し『地方公共団体を強く』します。

- 1 地方公共団体等の危機管理能力が向上します。
専門的な知識・経験をもって、防災計画作成、防災訓練の計画・実施、発災時における国の実動機関である自衛隊との連携強化を図ることができます。
- 2 即戦力のスタッフとして各首長を直接サポートします。
優れた危機管理能力、高い指導力をもって適時適切に状況判断を行い、各部署を横断した対応等について各首長を的確に補佐します。
- 3 長期間の勤務が可能であり、長く地域に貢献します。
若年定年制（大半が54～56歳で定年）を採用しており、長期の勤務が可能です。

地域防災マネージャー制度を利用し、退職自衛官を採用することは、地域防災力を高め災害に強いまちづくりを進めることができる

住居専用地域内の海外輸出向け中古車ヤード事業



猪瀬 浩
議員

問 6月定例会の際に、市長は

「二間塚地区の第一種中高層住居専用地域は、富津市都市計画マスタープランに則り、快適な住環境の整備と専用住宅を中心とした土地利用を誘導する」と回答した。

そのわずか5カ月後の現在、この地に海外輸出向け中古車ヤード事業開発が進んでいたことが判明した。いつ頃から把握していたのか。

市長 平成30年11月22日付で提出された開発行為許可申請書の添付書類に、自動車等の輸出入及び販売を目的とした法人である旨、記載されている。

問 市は事前協議の末、平成30年10月30日に市長名で事業者と開発に関する協定を結んでいる。その

事前協議の中で、平成30年9月14日に市の担当者が「本事業内容を周辺住民及び区長に説明するように」と事業者に要望したのに対し、事業者は「開発許可が下りた後の工事前後に個別に対応する」と回答。その後、市から追加要望を出していないことにより、市としては事前に事業者が地元住民へ説明会をこなす問題なしと判断したことになる。このような判断は正しかったと思うか。

市長 カーディーラーの展示場というところで申請されたと判断し、法令に基づいて手続きを進めた。

建設部長 説明会については、事業者に開催を求めていた。

問 不安を覚える市民の要望に対し、「あなた一人の意見では市は動きませんよ」と答えた市職員がいると聞いた。頭ごなしに相談を受けることを拒否する方がいるということはあるのだろうか。

市長 市民の方が相談を持ちかけた際は、市職員へ真摯に対応させることを徹底してもらえないか。

市長 市民の皆さんの不安にしっかりと寄り添って対応できるように行政を市役所一丸となつて、今後も進めていく。



事業者による住民説明会の様子
令和元年11月8日に初めての住民説明会（約120名参加）が開催された

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

総務参与（総務部参与）
健福部長（健康福祉部長）
建経部長（建設経済部長）

天羽中学校改築事業と 進入路拡幅工事について



千倉 淳子
議員

問 天羽中学校改築事業の進捗状況は。

市長 改築工事は、天候不良及び台風15号の影響により、本年11月18日までの工期を来年2月28日まで延長する変更契約を締結し、現在施工中。改築工事の完成後、備品搬入及び湊小学校からの引越えしを行い、供用開始は、現在のところ来年の3月中旬を予定。

問 進入路については。

市長 進入路の整備は、通学路の安全対策として必要であると考えた。今後とも学校、保護者、地域の方々と協力し、通学路の安全対策を講じていく。

問 この事業について、立地条件についての異論があったと認識しているかがか。

教育部長 立地条件については、陳情もあり、新しい土地に建設してほしいとの意見があったことは、十分理解している。また、校舎の老朽化が著しいので、新校舎を早期に建設し、生徒の安全を確保するため、通学路の整備をしてほしいとの意見があったことも認識している。

問 道路拡張は、どれほど重要で

必須なものだと考えているのか。
教育長 通学路の安全対策として必要であると考ええる。

健福部長・建経部長・教育部長
教育長と同様。

問 市民にとっては通学路拡張ありきの事業だと思うが、この拡幅が十分にはできないという話があるが、それは事実か。

建経部長 地形的に急峻な場所が存在するなど、道路に近接して建物があるなど、全路線で車両がすれ違える幅員を確保することは困難であると認識している。

問 市民との約束に反していないか。

教育部長 可能な限り拡幅し、最大限努力をしていく。御理解いただきたい。



市道湊富士見台線の様子(最低でも3種5級の道路の幅員4.5mを確保し改修予定)

災害への備え・公共施設の 再配置・教育について



渡辺 務
議員

問 台風15号をはじめとする災害の対応について、地域コミュニティの果たす役割は。

市長 今回の災害では、地域の皆さんに要支援者の避難支援や安否確認、避難所開設や物資の配布などを実施していただき、地域コミュニティのつながりはとても重要であると再認識をした。

問 自主防災組織などで、現実味を持つて準備するには、どうしたらよいと考えるか。

総務部長 災害発生時の役割分担の明確化と住民一人一人が地域全体のためにやるべきことがあるという意識を持つことが重要である。

問 公共施設再配置推進計画の進捗について。

市長 現在公共施設再配置推進計画の作成中。今後パブリックコメントを実施し決定していく予定。

問 そのスケジュールと推進体制について伺う。

市長 計画策定後、更新や保全に関する考え方を明確にした「個別施設計画」をできるだけ早く策定していく。総務部が各部に助言、支援をし、進捗管理を行っていく。

問 しているものがあるが、その意味を伺う。

総務参与 再配置の手法のうち廃止とは、施設建設当時の目的を果たした施設について、民間活用、譲渡、解体等を行うもので、この廃止後の手法については、庁内で協議、調整した上で判断する。

問 当市児童の外国語教育について、民間団体との連携を伺う。

教育長 富津市国際交流協会の依頼により、大貫小学校の児童と6月に姉妹都市であるカールスバッド市の高校生が、また、11月にはハワイのウクレレバンドの小学生の皆さんとの交流があった。民間団体を通じて外国の方々と交流することは、子どもたちの国際感覚を養う上で有意義な活動と考える。



姉妹都市カールスバッドの高校生たちが小学校を訪れ、子どもたちと交流をしました。

より安心して暮らしやすい 富津市づくりについて



三木 千明
議員

問 安心・安全、快適に暮らせる富津市のまちづくりのための用途地域における土地利用について伺う。隣接する君津市等でも住宅地の開発などに一服感が感じられる中、富津市内の道路整備も着実に進められ、私が着目している君津市との市境の地域、市内の中心市街地周辺等に集中して策を施せば、上総地域において住みやすい優良な住宅供給先としての可能性があると考えますが、市の土地利用やまちづくりビジョン等が明確でない点、可能性やポテンシャルを活かせない。富津市の目指す安心・安全で快適に暮らせる富津市のまちづくりとは何か伺う。2点目に、安心して暮らしやすい富津市づくりに向けた公共交通について伺う。富津市地域公共交通網形成計画に基づき、各種施策が実行され、市民の皆様方からも評価著しいところであるが、本市の公共交通の現状と施策について見解を伺う。

市長 将来都市像を「豊かな自然に包まれた安全、安心で、潤いある暮らしを支え育むまち富津」と掲げ、平成29年3月に富津市都市計画マスタープランを改訂した。

同プランでは、市の将来像を踏まえ、計画的な土地利用を進めていくため、用途地域を中心商業地、工業地、専用住宅地等に区分配置し、適切な土地利用を誘導していく。公共交通については、富津市地域公共交通網形成計画に基づき各種事業を進めており、タクシー運賃助成事業は7月から運用を開始した。また、10月1日に富津浅間山バスのストップがオープンし、房総なのはな号（白浜～東京線）、新宿なのはな号（館山～新宿線）、南総里見号（館山～千葉線）、館山～羽田空港・横浜線の4路線の利用が開始されたほか、二次交通手段として、バスストップ駐車場でカーシェアリングサービスを導入した。



令和元年10月1日から4路線が利用できる浅間山バスストップがオープン

令和元年度議会報告会

富津市議会では『市民に開かれた議会』を目指し、平成27年度から議会報告会を開催しています。

令和元年度は、令和元年12月13日天羽会場（市民会館）、17日大佐和会場（中央公民館）、19日富津会場（富津公民館）の3会場で実施し、1部では、平成30年度議会報告会「子育てのこと何でも聞きます議会」においていただいたご意見等に基づく、議会の取り組みや市への提言についての結果報告、2部では、「台風被害から見えてきたこと・感じたこと」をテーマに、参加された皆様からご意見等を伺わせていただきました。

当日は多くの皆様にご参加いただき、たくさんのご貴重なご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

各会場では、活発な意見交換が行われ、ご参加いただいた市民の皆様からのご意見、要望等の概要は以下のとおりです。

皆様からいただいた貴重なご意見等を市議会で検討・協議し、市長に提言するほか、今後の議会活動に活かしてまいります。

「台風被害から見えてきたこと・感じたこと」

○避難所について
避難所のトイレ等を、高齢者・車いすの方にも優しいバリアフリー化してほしい。

○災害ゴミ収集について

災害ごみの運搬について、各個人が運搬する場合運搬車両（軽トラック等）が無い家庭では運搬が出来ない状況にあり、運搬はボランティアに任せるしかない状況です。運搬車両のリース等検討してほしい。

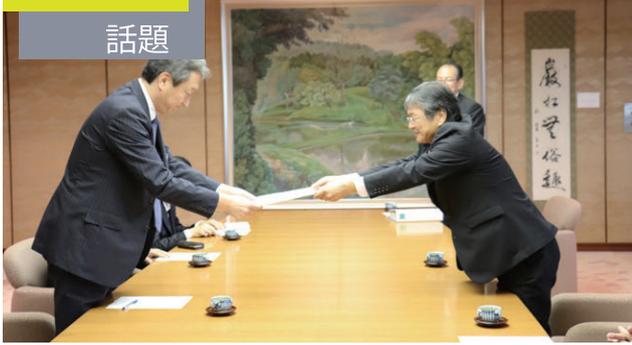
○災害時の対策等について

行政組織または区として、災害発生時の行動や確認等のマニュアル作成と、対策訓練・シミュレーションの徹底。



議会報告会の様子

市長への要請



10月29日に「子育てのこと何でも聞きます議会」で市民の皆様からいただいたご意見等を踏まえ、子育て支援の充実に関する施策について、議会から市長に「次期富津市子ども・子育て支援事業計画」に反映する等、積極的に対応されるよう要請しました。

賀詞交歓会



1月11日に市役所1階ロビーで「令和2年新春賀詞交歓会」が開催され、400名が参加し、盛会に行われました。

お知らせ

4月19日(日) 富津市議会議員選挙の投票日

現在の議会広報委員の任期は、4月で終了します。「議会だより」定例号は、新たな広報委員決定後に発行いたしますので、あらかじめご了承ください。(8月予定)

【編集後記】

議会広報委員の任期は2年のため、この7名での編集も今回が最後となりました。次回から新たな顔ぶれで再スタートします。この2年間で振り返る私たちの最後のつぶやきです。



議会活動を市民の方々に伝える重要な広報紙であることを認識し、委員長として分かりやすい表現を心掛けてきました。(岩本朗委員長)

議会だよりによる情報発信の他、皆様と意見交換をする議会報告会の実現。改選後も更なる「見える化」を期待。(猪瀬浩副委員長)

たくさんの内容を簡潔に分かりやすい文章にすることが、最後まで読んでいただけるよう心がけました。(松原和江委員)

市民にとって読みやすく解りやすい紙面になるよう取り組んできました。少しでもそれに近づけていたら嬉しいです。(千倉淳子委員)

令和元年は台風被害に見舞われ、災害への備

えが大切だと実感した年でしたね。皆様も一緒に防災について考えましょう。(高木一彦委員)

毎回、議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。今後とも「富津市議会だより」をご愛顧願います。(三木千明委員)

皆様に議会を身近に感じていただきたく色々な活動を行っております。お気軽に議会も傍聴していただきたいと思います。(諸岡賛陸委員)

ぜひ、議会傍聴に！

3月定例会日程

2月21日(金)	10時	開会
2月25日(火)	10時	議案の上程
3月3日(火)	9時30分	議案質疑
4日(水)	9時30分	一般質問
5日(木)	9時30分	一般質問
10日(火)		常任委員会
11日(水)		常任委員会
17日(火)		予算審査特別委員会
18日(水)		予算審査特別委員会
24日(火)	10時	委員長報告 議案審議 閉会

3月3日の午前9時(予定)から議場コンサートを開催いたします。

出演は、大貫小学校4・5年生の児童の皆さんです。

※日程は変更になることがありますので、議会事務局(80・1331)へお問い合わせください。